衆議院議員

辻元清美 国政NEWS

つじとも通信 VOL. 20
2010.12.12

連絡先・編集：
辻元清美とともに！ 市民ネットワーク
高槻事務所●〒569-0805大阪府高槻市
上田辺町6-20　寺本レヂデンス2F
TEL 072-685-0631 FAX072-686-2396
国会事務所●〒100-8982東京都千代田区
永田町2-1-2　衆議院第二議員会館504
TEL 03-3508-7055 FAX03-3508-3855
URL●http://www.kiyomi.gr.jp/
E-mail●info@kiyomi.gr.jp

絶望するより行動を

第一七六回臨時国会が終わりました。私は今年一年「批判より実行」を誓ってスタートしました。国会は言論の府ですが、議論だけで終わるのではなく政策実現のための行動が大事。理念→政策立案→議論→行動→実現→社会の変化。

一つでも二つでも具体的に「政策実現」を果たす。そのために黙々と働いた一年でした。

マスコミでは「菅政権の迷走」こんな見出しが溢れています。政権交代を共に目指した議員の中には「こんなはずではなかった」と暗い顔で呻く人もいます。

支持率はまるでジェットコースターのよう。でも政治家がそのジェットコースターに振り回されてフラフラになっているようでは困ります。それにあんなに頻繁に支持率をとる必要があるのかも疑問です。

私たちは政治の当事者です。「失望し嘆くヒマがあったら、ちょっとでもエエコトせなあかん。そのために選ばれている」と腹を据えて前進あるのみです。

日本を覆う危険な空気

ではどこに羅針盤を定めて前進していくのか？

私の羅針盤＝理念は突き詰めれば「路頭に迷う人を出さない」と「戦争は絶対に起こさない」です。

この二つは相互に関連しています。路頭に迷う人が増えれば社会不安が溜まって「閉塞感を打ち破りたい」とカリスマ待望論が出てきたり、「外国人に仕事を奪われている」と排斥運動が起こったりします。

先日、ある講演で「菅さんにはガッカリした」という声が飛んできました。私が「では、総理大臣は誰がいい？」と問うと「誰もいない！」という声がこだまし、「そうだ！」という掛け声と共に大きな拍手が起こりました。私はこの時、

尖閣問題をめぐり紛糾の国土交通委員会、法案審議の水先案内人としてフル回転（古賀一成国交委員長の隣の与党筆頭理事席で）。

「居場所と出番と絆」のある社会を。

本誌の記事・写真などの無断転載・複写を禁じます。

ゾッとするような危機感に襲われました。政治への絶望の先に出てくるのは、「強いリーダー（カリスマ）」待望論ではないだろうか、と感じたからです。

尖閣事件、北方領土問題、北朝鮮による韓国砲撃、普天間基地問題……。年末のテレビ出演依頼はナショナリズムを煽りたてるようなテーマが目立ちます。

先日は「菅左翼政権打倒！」と手に手に大きな日の丸を持ったデモ隊が国会前に集結しました。外国人参政権反対などのスローガンを掲げた団体が連日国会前で抗議行動をしています。この光景が国会前の日常になっているのです。

円高、デフレからの脱出も容易ではなく、経済状況も厳しい。歴史を振り返れば、そんな時にナショナリズムがファシズムに変容していったのではなかったのか、と考える私は心配性すぎるのでしょうか。

歴史の過ちを繰り返さないためには手をこまねいている訳にはいかない、行動しなければ！

社会の絆回復のため大同団結を

さてそれでは処方箋は？

一つは偏狭なナショナリズムに警鐘を鳴らすことと、東アジア情勢を安定させること。いままさに行われている日米軍事演習は、過去最大規模。沖縄はまさに「戦時下」を思わせる状況で住民の不安は高まっており、韓国・北朝鮮の両国の緊張を高めていることも間違いありません。しかし本土メディアはベタ記事扱いで、永田町でも話題にならない、極めて異常な状況。

今後は特に中国との関係修復が要になるはず。年末に自民党から共産党まで超党派中堅若手議員で行く訪中団があるので、日程が許せば参加して中国の若手リーダーと腹を割った意見交換をしたいと思います。

そしてもう一つが「居場所と出番と絆」のある社会

を回復するために「社会的包摂政策」を実行すること。

今年の春、私がまだ国交副大臣だった時、当時の菅副総理とともに「セーフティネット実現チーム」を立ち上げました。現在は小宮山洋子厚労副大臣に引き継がれ活動継続中です。内閣参与の湯浅誠さんと一緒に政府と与党と運動をつなぐ行動を開始しました。

「新しい公共」も必須です。NPO法を作ったネットワークをフル稼働させて市民公益税制の改善に取り組んでいます。加藤紘一自民党元幹事長、江田五月前参議院議長を共同代表に超党派の「NPO議員連盟」も再開させました。幹事長は私で事務局長は中谷元・元防衛庁長官です。「ピースボートから自衛隊出身者まで」社会の絆回復のための大同団結です。

具体的な政策をひとつひとつ実現していくことが「いつかきた危ない道」に至らない方法と信じて来年も邁進していく決意です。

菅総理、原点を見失わないで！

菅さんが言い続けてきた「最小不幸社会」とは不幸になる原因を取り除くのが政治の役割であり、最大の不幸は戦争だという理念だったはずです。最近菅さんはこの言葉を封印しているのかしら？　この原点を見失わないように菅総理にはクギを刺さなければ。

みなさんとともに「政治をあきらめない」を合言葉に来年もがんばります。

辻元清美

上）10月24日、東京国際女性映画祭で講演。
下）新しい公共調査会で、論点整理などの議論を繰り返す（松井孝治議員、細野豪志議員らと）。

辻元清美の仕事
セーフティ・ネット充実へフル回転
生活者の現状からどれだけ目を離さずやれるか。

辻元　政権交代して、当事者の人に入ってもらおうとセーフティネット実現チームを政府内に立ち上げました。私が国交副大臣で副主査、湯浅さんが事務局長でトータルな議論を始めたところで政権離脱になったのですが、私が再び与党の立場で仕事をすることになったので一緒に政策を進めていこうと打合せています。

湯浅　障がい者のために障がい者福祉があり、失業した人のために雇用保険がある。この光が細かったり、弱かったりすると、影の部分が残ってしまう。それが制度の谷間、この谷間が日本社会では広く大きい。福祉が小さい国だからです。この部分をカバーしてきたのが企業と家族の傘で、人によっては地域だった。その企業や家族や地域に支える力がなくなり、孤立する人が続出してしまった。その人たちに光をあてる社会サービスをつくっていかなくては。今モデル事業を自治体で始めていて、成果を見つつ制度化を考えていくという状況です。

辻元　政府の中で仕事をしてみてどうですか？

湯浅　中でも外でも変わんない。仲間を増やしてつながって物事をやっていくというのは運動も同じです。相手が官僚や国会議員だったりするだけで。

辻元　まわりからの評価が変わるでしょ。

湯浅　「入ってもろくな成果を出せていない」という評価は当然ありますし、「細かく見ると色々動いているね」といってくれる人も。ホームレス問題をやっていたころにくらべたらまだ味方は増えた方です。

辻元　湯浅さんとはロビー活動もしています。あの議員に会いに行こうとか。

湯浅　私は今の変化にあわせて多くの人が「生きやすい」社会へと仕組みを変えることが必要だと思っているので、それらを解決するため政策として進めたい。

辻元　トータルで言えば社会的包摂政策、社会的に排除するのではなく包括していくこれまでは、助けを求めて行政の窓口に来た人が制度に適合しないとか、一定生活が上向けば、たとえサポートが必要な状況であっても、行政は何もできませんでした。

生活保護に頼らざるを得なくなる前にサポートする予防的ケアや、困窮状況を脱した後の就労支援などの伴走的なケアをめざすのが新しいサービス。積極的に支援が必要な人たちを探しにいく仕組みも検討されています。

こうしたサポートを行うには行政資源だけでは不十分。人は社会に関わり、居場所を探すことが必要だからです。そのためにも孤立した人を社会につなぐNPOなどの活動がますます重要になります。近々モデル事業を行っている近畿内の市町村を視察し、現場の状況を見て来ます。

社会に絆を取り戻すことはいまの政治がやるべき最大の課題。政権交代の意義を進めるためにも、しっかりとりくみます！

社会的包摂を進めていく、希望はNPOです。

辻元清美＆湯浅誠さん

【ゆあさ・まこと】特定非営利活動法人　自立生活サポートセンターもやい事務局長。元「年越し派遣村」村長。内閣参与。

辻元清美の仕事
新しい公共・NPOの優遇税制実現へ

地味でも、静かに着々と進行している政策があります。「新しい公共」。鳩山政権下で「新しい公共円卓会議」が設置され、当事者や専門家が議論を重ねて「新しい公共宣言」をまとめました。それを受けて菅総理のもと「新しい公共推進会議」が始動。NPOなどへの寄附税制の見直しや税額控除の導入、非営利法人が「市場」で活動しやすくなるための制度やNPOバンクなど小規模金融制度に関する見直しなどを実現していくことに。市民運動に寄附はなかなか集まらず火の車という現実に苦しんできた私は何とかこの議論に関わりたいと思ってきました。

そこに朗報！ 政府の会議に対応して民主党内に鳩山前総理を会長に「新しい公共調査会」が作られることになりました。無所属クラブとして民主党と会派を組む私に、一二年前のNPO法制定の経験も活かしてほしい、と副会長就任要請が。会長代行の松井孝治前官房副長官や事務局長の細野豪志前民主党幹事長代理と共に、政府サイドの会議にも出席しています。

一〇月二七日、第一回目の推進会議が官邸で開かれ、菅総理や仙谷官房長官など関係閣僚もNPO当事者たちと一緒に意見交換。二〇人の民間メンバーにはピースボート時代の知り合いの顔もちらほら。もちろんネットで同時中継。

寄附税制の優遇団体と認められるための規制緩和等の実現に向けて、新法かNPO法改正かも論点のひとつ。NPO法は議員立法として超党派の議員同士の議論の末、全会一致で成立しています。今回の法制化も超党派で実現できれば……と、NPO議員連盟の再結成に向けて私はフル回転。

そして一二月一日、総会を開催。役員には重量級議員、NGO出身議員が名を連ねる。さらに一二月七日には提言を菅総理に手渡しました（左記）。私は「議員立法で実現させたい」。国民新党の亀井亜紀子議員から「与野党全部が一致している政策はこれだけですので、お願いします」と言われ菅総理も頷きました。超党派の議員、政府、NPOなどの当事者が議論して一定の方向を出す。まさに「熟議の民主主義」の実践にしたいと考えます。

12月7日、超党派議員で菅総理に提言を手渡す。

NPO議員連盟役員一覧（敬称略）

顧問●鳩山由紀夫（民）／福田康夫（自）
共同代表●加藤紘一（自）／江田五月（民）
副代表●枝野幸男（民）／額賀福志郎（自）／斉藤鉄夫（公）／浅尾慶一郎（み）／笠井亮（共）／照屋寛徳（社）／亀井静香（国）／与謝野馨（日）
幹事長●辻元清美（無）
幹事●細野豪志（民）／鶴保庸介（自）／富田茂之（公）／山内康一（み）／塩川鉄也（共）／服部良一（社）／亀井亜紀子（国）／園田博之（日）
事務局長●中谷元（自）
事務局次長●岸本周平（民）／谷合正明（公）

NPO法人の税制支援に関する提言（抜粋）

1. 認定NPO法人に対する寄附について、税額控除方式を導入し、税額控除の割合は寄付金の50%（所得税額の25%を上限）とし、現在の所得控除方式との選択制とすること。

2. 認定NPO法人の認定要件について、大幅な緩和を実施すること。具体的には①PST（パブリック・サポート・テスト＝法人が広く一般から支援されている度合いを数値で計るもの）要件について、3000円以上の寄附者が100名以上あれば認定するという絶対値で判断する基準を導入すること。②米国の認定制度にあるような「仮認定制度」を導入し、PST要件を満たさない場合でも、税制優遇措置を受けられるスタートアップ支援措置を講じること。③PSTの特例である、基準値を5分の1以上とする措置を恒久的措置とすること。④地方自治体が条例で独自に指定したNPO法人には、PST等の要件を課さずに寄附税制の支援が受けられるようにすること。

3. 所轄庁によるNPO法人の情報開示をインターネットで行うこととし、NPO法人の信頼性を高めるとともに、市民がより適切に寄附先を選択できるようにすること。

4. 地方分権を促進する視点より、認定NPO法人の認定主体を国税庁から、主たる事務所がある都道府県知事に移管すること。この場合、認定要件をいっそう明確化し、行政の恣意的判断をできるだけ排除するとともに、都道府県が運用しやすいように図ること。

5. 認定NPO法人が、収益事業から収益事業以外に支出した場合は、社会福祉法人等と同様に、収益事業の所得の50%（または200万円）までを損金算入できるようにすること。

6. 上記の措置に関しては、次期通常国会で法案を成立させ、早急な実現を図ること。

7. いっそう寄附を促進する観点から、日本版プランド・ギビング制度（信託を活用したNPO法人等への寄附への税制優遇）の導入、寄附金への年末調整制度の適用や、地方自治体における1%支援制度の採用を促進する措置などの検討を行うこと。

辻元清美の仕事
交通基本法そして新しい国土交通政策を

国交副大臣時代に国交省の全部局をあげ取り組んだ「交通の憲法」交通基本法案作り。次期通常国会での提出に向け政府内外で様々な動きを進めています。

政府内では、法案準備に加えて、地域の公共交通を支えるための予算（地域公共交通確保維持改善事業）として例年の約二倍の四五三億円が「元気な日本復活特別枠」に要望されました。民主党の国土交通部門会議（私も筆頭理事として運営役）のもとに「交通基本法ワーキングチーム」もつくられ活発な議論が進行中。

羽田空港国際ターミナルオープン前にD滑走路を歩く。

私はNPOや事業者、労働者団体等各方面の関係者と意見交換を進めています。

航空政策についても副大臣時代の案件が結実しつつあります。羽田空港の国際ターミナル開港が大きく報じられましたが、ここまでこぎ着けるのは大変でした。昨年の今頃は前原前国交大臣や私が「羽田をハブ空港に」と発言しただけで非難の嵐。地元住民との衝突の末出来た成田は国際線、羽田は国内線という棲み分けがあったからです。アジア各地の空港は繁盛しているのに、このままでは共倒れ？ そんな危機感から羽田からも国際線を飛ばす決断をし、実現しました。

要望があるから地方空港を作るという今までのやり方ではなく、世界の中の日本として将来をしっかり見据えた長期的な戦略を組み立てていかなくては。また関西国際空港は有利子負債の返済を除くと経営自体は黒字に。特に低価格航空の就航で活気が出ています。「あるモンは工夫して使わなソン」の根性で空港・航空の建て直しを進めます。

朝日新聞「耕論」（一一月五日）でも発言した通り、航空政策は観光や文化やスポーツと一緒に考えるのが大事。私は「観光立国で日本を元気に」とエコツーリズムや農業観光、メディカルツーリズム等を推進。中国人個人観光客の日本入国ビザの要件緩和も実現し、中国からの観光客は八月までに一〇四万人で昨年の年一〇一万人を超えました。

旅で自分も日本も元気に。お互いの交流を深め、内需の活性化もはかろう。ヒト・モノ・カネを動かして経済を活性化し、地方に仕事を創出。そして何より観光は平和育成産業。そんな思いで観光庁とタッグを組み仕事をしています。

辻元清美の仕事
外交・安保に積極提言

日米関係の会合にも積極的に参加しています。日米のシンクタンク、マスコミ、学者、政府、政治家が一同に会するフォーラムに参加しました（※）。元外務官僚で拉致問題を担当した田中均氏やコロンビア大学のジェラルド・カーチス氏など日米両政府に影響力がある面々が一同に会し、今後の日米関係について議論。来春には菅総理とオバマ大統領に提言を出します。もちろん、普天間問題も含みます。私は「不信や怒りに囲まれた軍事施設はいざという時に役に立たない。辺野古への新基地建設を押し切れば沖縄の全基地が怒りで包囲され、日米関係は極度に不安定になる」とスピーチ。この発言に米政府の人が「興味深い発言だった」と声をかけてきました。

政治家は民主と自民のみの参加のようでしたが、今回は私にも声がかかりました。これからは保守系の会合にも積極的に参加して主張していきたいと考えています。同じ考えの人たちだけではなく、考え方の違う人たちとこそ議論しなければ世の中は変わらないのではないでしょうか。

※一一月一六日「ワークショップ・日米関係の再構築をめざして」「『日米中関係の管理と強化』日本語版出版記念セミナー」参加者：北城恪太郎（日本IBM株・最高顧問）、小林陽太郎（富士ゼロックス株・元取締役会長）、土井香苗（ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表）、山本正（財・日本国際交流センター理事長）、若宮啓文（朝日新聞社コラムニスト）、梅本和義（外務省北米局長）、任暁（中国大使館一等書記官）、フィリップ＝ピーホフマン（米国大使館公使）、グレン＝F＝フクシマ（エアバス・ジャパン株・代表取締役会長）、ジョージ＝パッカード（米日財団理事長）、マーティン＝ファクラー（ニューヨークタイムズ東京支局長）、ロバート＝フェルドマン（モルガン・スタンレー証券会社ディレクター）他※敬称略

清美 in 近畿

写真A・B＝10月３日、大阪市内のホテルで開いた「政治活動１５年記念パーティ」には600名超の方が集まってくださった。田原総一朗さん、姜尚中さん、上野千鶴子さん、遥洋子さん、河内家菊水丸さん、江田五月前参議院議長、藤井裕久民主党最高顧問、阿部とも子社民党政審会長、服部良一社民党大阪府連合代表をはじめ、たくさんのゲストの方からお祝いのスピーチをいただく。「異質な文化圏にいる人ともやりあえるタフな交渉人になれる人」と姜さん。

写真F＝11月7日、島本町町制施行70周年記念式典に参加。

写真Ｉ＝11月27日、島本町の児童養護施設「大阪水上隣保館」を見学。子どもたちの笑顔にほっとする。

写真C＝10月9日、JR不採用レセプション。国鉄時代の作業服で参加したみなさんと記念撮影。

写真D・E＝10月11月は各地で開かれる地元コミュニティの文化祭を訪問。「菅さんしっかりしてや言うといて」と色々な方に声をかけられる。

写真G＝11月8日、「ものづくり大賞」を受賞しているという企業を見学。こんな元気な企業が地元高槻にあることに勇気付けられる。

写真H＝11月20日、三重県鈴鹿市の商工会議所に招かれ「辻元清美元国土交通副大臣 256日の戦い」というテーマで講演。

バリアフリーじゃなかった国会議事堂

Kさんの国会見学記

12月3日、臨時国会閉幕の日に国会を訪れた。視覚障がいを持つ私と車椅子の友人と総勢6名。昼食は清美さんと一緒に議員会館の食堂で。みんな政治を身近に感じられるようになったと喜んでいた。ただ、国会案内のパンフに点字のものがなかったこと、1階フロアがフラットでなかったり、エレベーターの乗り継ぎが多かったり、参観通路がバリアだらけだったことなど、障がい者への配慮が足りないと感じた点がいくつか。広報の仕方も含めてもっと気軽に国会見学できるようにしてほしい。

（高槻市・Kさん）

地下道を使って議員会館から議事堂に。

多所彩々 ～清美が行く～

辻元清美の活動報告・抜粋

9月

1日　財政レクチャー（以下レク）。国土交通（以下国交）省総合政策局・海事局レク。
2日　マレーシア人ジャーナリスト取材。財政レク。
3日　財政レク。野田聖子議員のさらなる飛躍を期待する会。
6日　財政レク。
7日　教職員組合訪問（大阪市）。私鉄関係者面談（大阪市）。
8日　地元あいさつまわり。
10日　地域福祉文化セミナー（高槻市）。講演＜リベラル連合摂津＞『辻元清美と語ろう会』（摂津市）。
11日　高槻市医師会災害医療救護訓練。
12日　高槻ダンス合同発表会挨拶。
13日　講演＜シベリア抑留問題＞（京都市）
15日　労働組合定期大会。
16日　カンボジア地雷撤去NGO面談。根室市議会議長面談。内閣府市民活動促進課レク。
17日　生協関係者と意見交換。
18日　高槻副市長面談。高槻市職員労働組合執行委員学習会挨拶。「ソウルフラワーユニオン」コンサート。
19日　島本町福祉大会。高槻まちづくりシンポジウム。
20日　事務所会議。
21日　名護市議面談。在日中国企業協会成立10周年祝賀レセプション。
22日～23日　資料整理。原稿執筆。
24日　NPO議員連盟（以下議連）打合せ。観光庁長官面談。テレビ出演「朝まで生テレビ」（「テレビ朝日」）
25日　辻元清美と語ろう会（高槻市内各地区）。
26日　辻元清美と語ろう会（島本町、高槻市）。
27日　講演＜陸運新報社＞『なにわ経営セミナー』（大阪市）。
28日　大阪行政書士政治連盟陳情。
29日　菅直人総理と意見交換。米国青年政治指導者との昼食懇談会。亀井静香国民新党代表と面談。野田聖子議員と対談（雑誌『女性自身』）。林野労組面談。中華人民共和国建国61周年祝賀レセプション。

10月

1日　本会議。国交省コアメンバー会議。観光庁発足2周年祝賀会。日韓交流お祭りレセプション。
2日　事務所会議。
3日　JAM北大阪地協8総会。辻元清美15周年記念パーティー。
4日　労働組合定期大会（大阪府池田市）。日韓フォーラム：セッション『東アジア地域的安全保障の新たな課題と日韓協力』（東京）。国交部門会議。国交省港湾局レク。日韓フォーラム夕食会。
5日　高槻商工会議所女性会20周年式典。
6日　本会議。
7日　観光庁長官面談。私鉄総連交通政策局長面談。アフガニスタン問題に関する勉強会。本会議。
8日　JAたかつき組合員大会式典。在外被爆者問題要請。
9日　労働組合大会。国労西日本：JR不採用問題解決レセプション。講演＜電機連合北摂地区連合＞セミナー（茨木市）。
10日　野見神社宵宮祭（高槻市）。
11日～13日　韓国訪問（高槻商工会議所一行と同行）。
14日　国交省住宅局レク。業界紙『物流ニッポン』取材。JR四国陳情。国交コアメンバー会議。国交部門会議。国交省総合政策局レク『交通基本法』。鉄道の日祝賀会。
15日　ジェラルド・カーティス米コロンビア大学教授面談。JR連合陳情。日本船主協会陳情。
16日　東京国際空港再拡張事業供用記念式典・祝賀会。ピースボート同窓会。菅総理、福山官房副長官、枝野民主党幹事長代理と食事。
17日　北海道5区補欠選挙応援街頭演説（札幌市）。
18日　私鉄関西地連懇親会（大阪市）。
19日　定期航空協会陳情。取材（『朝日新聞』）オピニオン『日本の空を元気に』。本会議。国交省海事局レク。国交省コアメンバー会議。
20日　国交委員会。公共事業チェックの会役員会。北海道商工会議所陳情。在外投票推進議連総会。国交部門会議。
21日　近畿港湾協議会意見交換会。港湾を考える全国集会。JR貨物陳情。阿部とも子議員を励ます会。
22日　税制改正プロジェクトチーム（以下PT）『市民公益税制』。新しい公共調査会。国交省総合政策局レク『交通基本法』。テレビ収録（『BS朝日』"クロスファイア"。）。
23日　女瀬川敬老の集い記念式典（高槻市）。
24日　講演＜東京国際女性映画祭＞。
25日　講演＜早稲田大学大隈塾＞。私鉄関係者との意見交換会『交通基本法』。
26日　税制改正PT『市民公益税制』。国交委員会。国交省航空局レク。不動産協会陳情。新しい公共調査会。国交省コアメンバー会議。
27日　日本倉庫協会陳情。国交部門会議。新しい公共推進会議。
28日　有明フェリー国交副大臣へ陳情（吉田ただとも議員と）。内閣府レク『NPO税制』。国交省海事局レク。朝日新聞新人記者研修講演。
29日　国交委員会。財務省レク。労働組合大会（京都市）。
30日　コミュニティ文化祭訪問（高槻市内各所）。
31日　原稿執筆。

11月

1日　湯浅誠内閣参与と打合せ。講演＜内外ニュース懇話会＞。取材（週刊誌『AERA』）。
2日　航空連合面談。国交省海事局レク。本会議。国交省コアメンバー会議。韓国大使館の方々と懇談。
3日　高槻市文化の日記念式典。島本町文化祭。コミュニティ文化祭訪問（高槻市内各所）。
4日　取材『にっぽん人脈記』（『朝日新聞』）。長距離フェリー協会陳情。内閣府レク。新しい公共調査会。本会議。新しい公共調査会役員会議。国交部門会議。櫛渕万理議員同風の集い。
5日　エクアドル大使面談。海上保安庁レク。国交委員会。
6日　コミュニティ文化祭訪問（高槻市内各所）。高槻市職労退職者会大会。岡本茂高槻市議会議員『まちづくりセミナー』。
7日　島本町制施行70周年記念式典。コミュニティ文化祭訪問（高槻市内各所）。連合北摂ふれあいフェスティバル。高槻生協自然館いきいきごちそう祭。消防フェスティバル2010。
8日　地元企業訪問。各業界団体・組合訪問。講演＜私鉄関西地連＞『交通政策フォーラム』（神戸市）。
9日　韓国女性国会議員との朝食会。新しい公共調査会役員会。国交省航空局レク。国交省総合政策局レク『交通基本法』。内閣府レク『NPO税制』。観光庁長官面談。国交省コアメンバー会議。Web『マガジン9条』中島岳志氏と対談。
10日　湯浅誠さんらと国民生活再建調査会（仮）打合せ。新交通システム（LRT）議連総会。全国路面電車ネットワーク陳情。信託協会陳情。国交部門会議。
11日　取材（雑誌『婦人公論』）。新しい公共推進会議。本会議。高槻副市長面談。ジェラルド・カーティス米コロンビア大学教授と面談。NPO寄付税制東京集会＜シーズ＞。
12日　国交省住宅局レク。国交委員会。新しい公共調査会。国交委員会。
14日　労働組合大会（和歌山県）。
15日　交通基本法ワーキングチーム（以下WT）。本会議。三宅一生氏企画展内覧会。
16日　朝食ワークショップ『日米関係再構築』／出版記念セミナー『日米中関係の管理と強化』；日本国際交流センター。核軍縮・不拡散（PNND）議連勉強会。本会議。観光庁レク。国交省コアメンバー会議。
17日　町村議会議長全国大会。高槻商工会議所陳情。国交国土計画局レク。国交部門会議。国民生活再建調査会（仮）打合せ。
18日　取材（週刊誌『FLASH』）。本会議。経済産業省・環境省レク『風車エネルギー』。北海道新聞取材。私鉄意見交換会。エイボン女性年度賞表彰レセプション。
19日　NPO議連発起人会。国交委員会。国交省コアメンバー会議。
20日　講演＜鈴鹿市商工会議所＞（鈴鹿市）。
21日　コミュニティ文化祭訪問（高槻市内各所）。永田町航海記with湯浅誠（高槻市）。
22日　講演＜本願寺長野別院＞『沖縄基地問題』（長野市）。
24日　新しい公共調査会役員会。日韓社会的企業セミナー・日韓研究者との意見交換会。国民生活再建調査会（仮）打合せ。定期航空協会陳情。八ツ場ダムDVD試写・報告会。国交省道路交通局レク。国交部門会議。交通基本法WT。古賀一成議員"一成フォーラムin東京"。
25日　運輸労連機関紙『委員長対談』。本会議。在外被爆者に援護法適用を実現させる議員懇談会。国交省コアメンバー会議。
26日　国交省航空局レク。商工会法施行50周年記念商工会全国大会。本会議。
27日　労働弁護団土曜会。大阪水上隣保館・児童養護施設遊学園施設見学（島本町）。連合大阪退職者会要請。
28日　講演＜影法師結成35周年記念イベント＞（山形県）。
29日　日韓議連合同総会。日韓議連昼食会。部落解放・人権政策確立要求第1次中央集会。講演＜阪急電鉄労組＞。
30日　ツーリズム議連総会。本会議。内閣府レク『NPO』。国交省鉄道局レク。国交省コアメンバー会議。講演＜有馬晴海塾＞。テレビ出演（『BSフジ』"プライムニュース"。与謝野馨議員と）。

きよみインフォメーション

辻元清美国政報告会「新春永田町航海記」 ※ゲスト未定

日時●**2011年2月5日（土）**
13：30～15：00

ところ●高槻現代劇場新館3Fレセプションルーム
入場無料・要予約、保育有（年齢制限なし、要予約）

辻元清美特製カレンダー2011 絶賛発売中！

A2サイズ1枚
（縦594mm×横420mm）
定価300円（送料210円）
今回同封の返信用ハガキ、メール、電話、FAXでお申込みください。
代金は現品到着後、同封の払込用紙でお支払いください。

年末年始・テレビ出演のお知らせ

（急遽予定が変更になる場合もあります）

●**「あさパラ!」**12月25日（土）9：25～11：25
読売テレビ・中京テレビ放送

●**「たかじん胸いっぱい2時間半年末スペシャル」**
12月31日（金）14：00～16：30（第二部）、
関西テレビ（以下は放送日時が違うところもあります。北海道文化放送・秋田テレビ・群馬テレビ・テレビ埼玉・さくらんぼテレビ・東海テレビ・テレビ新広島・テレビ山口・高知さんさんテレビ）

●**「朝まで生テレビ」**12月31日（金）25：30～29：55、テレビ朝日　※元旦午前1：30～5：55

緊急報告会

新しい公共って何？ NPO優遇税制は実現する？！

日時●**2011年1月16日（日）**
17：00～19：00

場所●高槻現代劇場（旧館）402号室

ゲスト●
早瀬 昇さん
大阪ボランティア協会理事・事務局長
松原 明さん
特定非営利活動法人シーズ副代表

入場無料・要予約、保育有（年齢制限なし、要予約）

誌面（4P）で詳しくご紹介したように、政府の内外でNPO法・税制改正の議論が進んでいます。政府委員の一員として、またNPOサイドの要望のまとめ役として奔走されるお二人を招き、議論の状況を伺うとともに、今後NPO活動がどう変わっていくか意見交換をする場です。
法人格の有無を問わずNPO・市民活動を行うみなさん、「新しい公共」に感心をお持ちのみなさん、どなたにもぜひご参加・ご意見いただきますようお願い申し上げます。
※社会福祉法人や学校法人の方は、別途意見交換の場をご用意しておりますので、お問い合せください。

ご予約・お問合せは TEL：072-686-2395　FAX:072-686-2396

カンパのお願い●果敢にたたかい続ける辻元清美をご支援ください。

いつでもどこでも全力投球の辻元清美です。毎回のお願いで誠に恐縮ではありますが、無所属となり事務所の運営はますます厳しい状況です。カンパにぜひご協力をお願いします。

つじともネット会員募集中●

会報「つじとも通信」を年2～3回お届けする他、国政報告会「永田町航海記」等のご案内を差し上げます。
サポート会員：年　12,000円　※毎月1,000円の郵便貯金自動引き落しもご利用いただけます。
一般会員：年3000円　学生会員：年1,000円
個人特別賛助会員：年50,000円/一口（寄付金扱い・上限30口迄）

郵便振替　00960-3-150256
加入者名　辻元清美とともに！市民ネットワーク

※なお、政治資金規制法により、「つじともネット」への寄付金は日本国籍の個人に限られています。団体・法人からの会費・寄付金のお申込はできません。